

「地域公共交通シンポジウムin中部 2025」事例紹介

# NearMe | ニアミー

移動の「シェア」で地域の社会問題を解決する

# 持続可能な地域創造のための 移動の課題と「シェア乗り」の新たな可能性

## 本日のアジェンダ

自己紹介

モビリティ業界（ドアツードアの移動）を取り巻く環境

ニアミーが取り組んでいること

質疑応答（QA）

## 自己紹介

モビリティ業界（ドアツードアの移動）を取り巻く環境

ニアミーが取り組んでいること

質疑応答（QA）



## 株式会社NearMe | ニアミー

高原 幸一郎

代表取締役社長

シカゴ大学経営大学院卒

モビリティサービス協会理事 / iU教授（モビリティ・ソーシャルデザイン学） / スタートアップ協会理事 /  
シェアリングエコノミー協会幹事 / インパクトスタートアップ協会正会員 / 全国ハイヤー・タクシー連合会加盟

2001年SAPへ新卒入社。国内外様々な業界の業務改革プロジェクトに従事。

2012年楽天に入社。物流事業の新規立ち上げ、日用品EC事業の責任者、  
米・仏グループ会社の取締役やCEOなどを歴任。

日本には豊富な地域資源があるのに「もったいない」ことが多く、  
今後は日本の地域活性化に貢献したいという思いで日本に帰国。

地域課題でも特に深刻なドアツードアの移動問題に取り組むことで

「住みたい街に住み続けられる社会の実現」を目指し、2017年株式会社  
NearMe（ニアミー）を創業。2018年からシェアリングエコノミーのMaaS  
サービス、AIを活用した「移動のシェア」サービスを複数展開している。

## 会社概要

会社名	株式会社NearMe
所在地	東京都中央区日本橋富沢町9-4
代表者	高原 幸一郎
設立	2017年7月18日
資本金	1億円
事業内容	シェアリングエコノミーのMaaSサービス、AIを活用した「移動のシェア」サービスを複数展開

### 主な協業先



## MISSION

暮らしの「もったいない」をなくし  
「次のあたりまえ」をつくる

移動の「もったいない」を解決し  
1人でも多くの人が  
好きな街に住み続けられる社会  
を実現したい



# 本日のアジェンダ

自己紹介

モビリティ業界（ドアツードアの移動）を取り巻く環境

ニアミーが取り組んでいること

質疑応答（QA）

# 2030年に起きうる移動課題とは

観光産業は政府/産業界において「成長戦略の柱」「地域活性化の切り札」としての位置付け

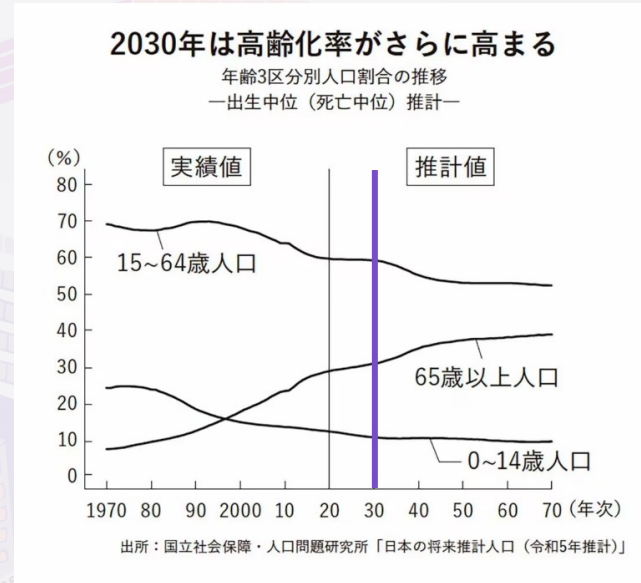


国策として  
訪日6,000万人を目指す

観光立国推進基本計画			
国土交通省			
○観光立国推進基本法に基づき、観光政策に関する①基本方針、②目標、③施策を定めるもの ○国土交通大臣の諮問を受け、交通政策審議会の意見を聴いて、閣議決定 ○閣議決定に向けて、観光立国推進閣僚会議(全閣僚が構成員)を数回開催し議論			
	第4次基本計画 (2023~2025)	2024年実績	第5次基本計画 (2026~2030) (案)
訪日外国人旅行者数	2019年水準超え (3,188万人)	3,700万人	6,000万人※
訪日外国人旅行消費額	5兆円	8兆円	15兆円※
訪日外国人旅行消費単価	20万円	22.7万円	25万円
訪日外国人旅行者 1人当たり地方部宿泊数	2泊	1.36泊	2.17泊
日本人の海外旅行者数	2019年水準超え (2,008万人)	1,300万人	
日本人の地方部延べ宿泊者数	3.2億人泊	3.0億人泊	
日本人国内旅行消費額	22兆円	25兆円	22兆円

※「明日の日本を支える観光ビジョン」(2016年決定)の2030年目標 1

## インバウンド観光急増



社会構造としての  
不可避な構成に

## 超少子高齢化による人口減少

この『需要↑vs 供給↓』の構造を放置すれば、地域社会と観光地の両方に深刻な影響がでる

→ニアミーは、AI×配車テクノロジーを用い、地域交通と観光交通の境界を越えて  
移動のミスマッチを社会課題と捉え、未来志向で解決する存在へ

“観光立国”とは、観光客が増える国ではなく観光を通じて地域が持続可能に生きる国である



# 喫緊の課題は 移動の需給バランスの不均衡



**Problem Statement** 一方で、タクシーは遊休資産であり有効活用できる可能性

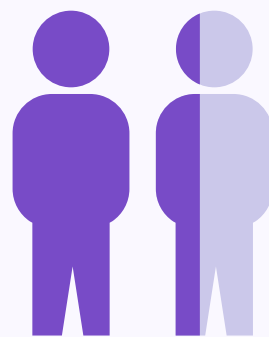
## タクシーの使い方が「もったいない」

乗車率



40%

乗車人数



1.3 / 9人

未来に向けて  
どう解決するか

# “ライドシェア”

## ライドヘイリング

(呼んだら来る、1台に1組を乗せる配車アプリ)

→ 運転する人がプロ→タクシー

→ 運転する人が素人→白タク

## ライドプーリング

(1つの車両を複数組で相乗り)

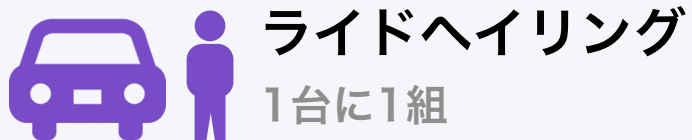
※日本で言われる“ライドシェア”は白タク解禁のこと



**Solution** ライドプーリング型の「ライドシェア」が即効性が高く有効

## 目的は”輸送量”を増やすこと

ドライバーを増やす（量）



- ✓ タクシー規制緩和
- ✓ ライドシェア解禁

= 一般のドライバーが自家用車を使って有料で乗客を運ぶ日本版ライドシェア / 公共ライドシェア

量 × 質



輸送量増加へ

既存資産の有効活用と効率化（質）



即効性高

NearMe  
シェア乗り  
(相乗り / 乗合)

**Solution** 未来の移動において、「シェア乗り」は世界に先行したモデルを構築できる可能性

日本特有の人口減と少子高齢化を背景に、さらに脱炭素が求められる中で、モビリティの将来は既存資源を有効活用するライドプーリング（質）の実装が重要ではないか



### ライドヘイリング

1台に1組

交通量増加

一般車両（小型車）の  
EVへのスイッチ

シェア型への転換GAP



### ライドプーリング

1台を複数人でシェア

既存台数から輸送量を6倍創出

渋滞や環境負担を軽減

シェア車両のデザイン  
とEVへのスイッチ

来たるべく  
自動運転へのパス

### 自動運転の世界



ドアツードア移動も  
シェアが次の  
あたり前になる

## Solution 参考 | 現に世界でもその先を見据えた課題解決の動きが

2025年6月5日 5:00

### 自動運転、ロボタクよりバス トヨタ出資のメイが逆張り

AV2.0<sup>15</sup>

テクノロジー IT スタートアップ マネジメント



[トヨタ自動車](#)が出資する自動運転の米スタートアップ、メイ・モビリティが逆張り戦略を描いている。投資余力に限りがある同社は、米ウェイモなどが手がけるロボタクシーは当面やらず、路線バスの代替などに狙いを定める。メイはNTTや[伊藤忠商事](#)なども出資する自動運転分野の注目銘柄でもある。エドウィン・オルソン最高経営責任者（CEO）がNIKKEI Mobilityに小兵ならではの戦法を語った。...

#### ロボタクシー「持続可能ではない」

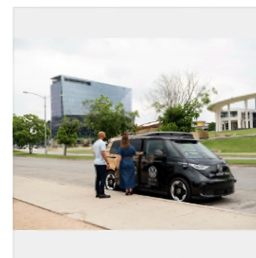


### UberとVW、「相乗り」の自動運転サービスを2026年に開始へ

5/15(木) 12:35 配信



CNET Japan



Uber

4月に提携を発表したUberとVolkswagenは米国時間5月14日、相乗りできる自動運転車サービスを2026年にロサンゼルスで開始すると発表した。

#### 【画像】 爽快に走る自動運転ミニバン

利用者は完全電動の自動運転ミニバン「ID. Buzz AD」をアプリで呼び出せる。両社は4月、今後10年間で米国の複数都市に数千台のID. Buzz ADを配備すると発表していた。2025年内に試験運行を始め、その後ロサンゼルスで商用サービスを開始する。初期段階では車内にオペレーターが同乗し、円滑な運行を確保する。

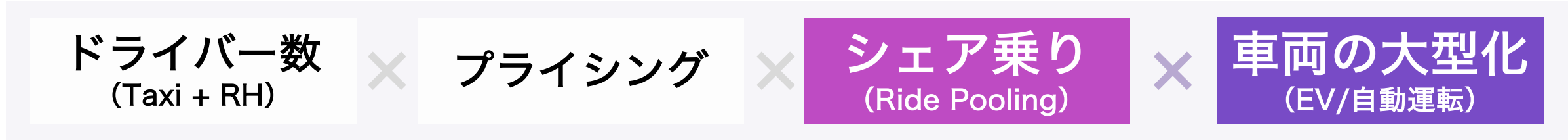
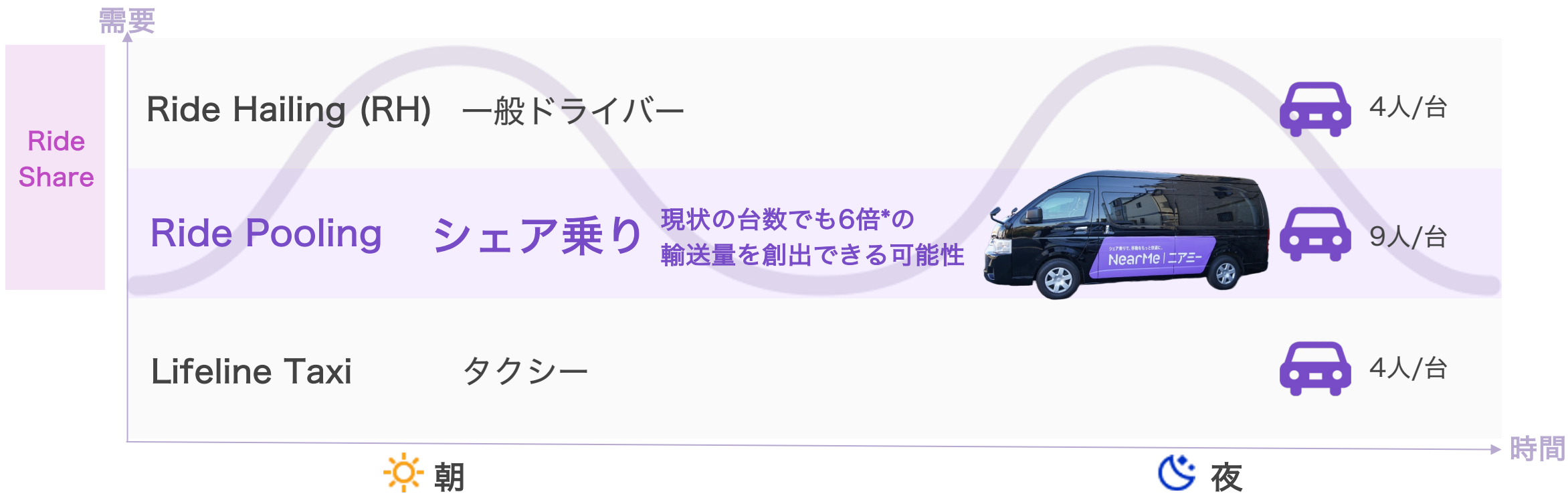
Uberはプレスリリースで「自動運転技術は全ての人により安全で手頃な未来をもたらす。この技術へのアクセスを世界中に拡大するのが待ちきれない」と述べた。

現時点でも一部都市ではUberやWaymo経由で自動運転車を呼べるが、相乗りには対応していない。Alphabet傘下のWaymoはフェニックス、サンフランシスコ、ロサンゼルス、オースティンで完全自動運転の配車サービスを提供しており、2025年以内にはアトランタでも開始予定だ。UberはMay MobilityやNuroなど十数社とも提携している。

相乗りは、自動運転車が渋滞を悪化させるとの懸念にも対応できる可能性がある。批判的な人々は、自動運転車が乗客を待つ間に走る「空白の距離」を問題視してきたが、複数人が同じ車に乗れば、常に誰かが乗車している状態に近づく可能性がある。

Solution 「シェア乗り」アプローチは、需給バランスの最適化に貢献

ドライバー不足の解消と車両の大型化（+EV化/自動運転化）で日本の移動問題を解決



\* 現状の乗車人数1.3→4人の3倍、実車率40→80%の2倍を乗じた場合

## Solution

効果的で即効性のある打ち手として、  
タクシーのスペースとキャパ（遊休資産）を活用

ドライバー不足



40%減↓

需要急増



47%増↑

実車率



40%

乗車人数





1.3 / 9人

AIとマッチングのテクノロジーで解決！

Solution

タクシーのシェア乗り「NearMe」は、  
バスとタクシーのいいところ取り、おトクにドアツードアで移動できる

	<div>タクシー</div> <div>TAXI</div> <div></div>	<div>NearMe</div> <div></div>	<div>バス</div> <div></div>
特徴	高級・高品質/ プライベート利用	オンデマンド 少数グループ	不特定多数/ 大量輸送
価格	高価格	シェアだからおトク	低価格
利便性	ドアツードア/ 即時	ドアツードア/ 事前予約	定時・定路線





# タクシーの「シェア乗り」で 第4の公共交通機関を目指す！





複数人を同乗させる「シェア乗り」が、売上アップや実車率向上に貢献できると期待されている

## <全国タクシー協会がまとめたアクションプラン>

1. 初乗り距離短縮運賃

2. 相乗り運賃（タクシーシェア）

3. 事前確定運賃

4. ダイナミックプライシング

5. 定期運賃（乗り放題）タクシー

6. 相互レイティング

7. ユニバーサルデザインタクシー（UD）タクシー

8. タクシー全面広告

9. 第2種免許緩和

10. 訪日外国人等の富裕層の需要に対応するためのサービス

11. 乗合タクシー（交通不便地域対策・高齢者対応・観光型等）

## 2. 相乗り運賃（タクシーシェア）

### 【概要】

運賃は乗降地点によりシェア出来るシステムの構築

### 【期待出来る効果】

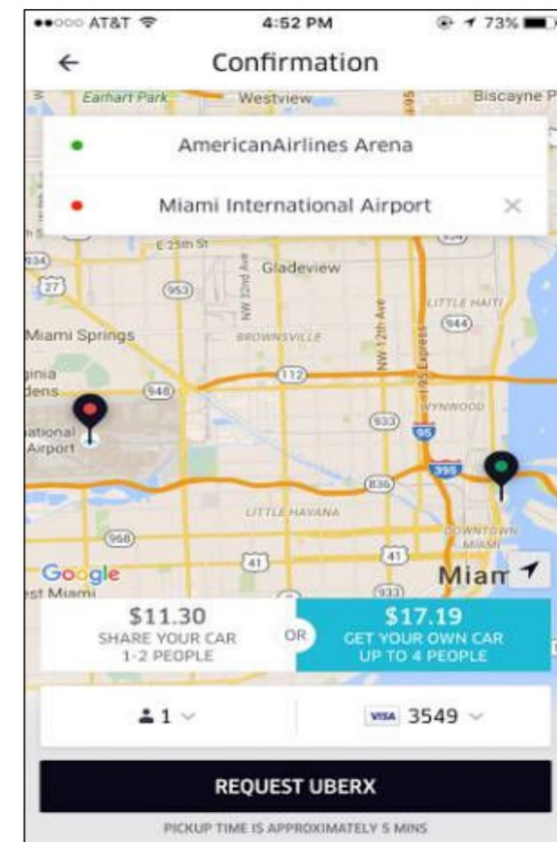
- ・実乗車部分の負担の精算が容易になり便利
- ・タクシーの需給が切迫している際  
相乗りによるマッチングが可能

- 空港への相乗り
- 朝の通勤時間帯での相乗り
- 雨天時での相乗り

\* カリフォルニアでは

UBER(**uberpool**（サービス名）)の

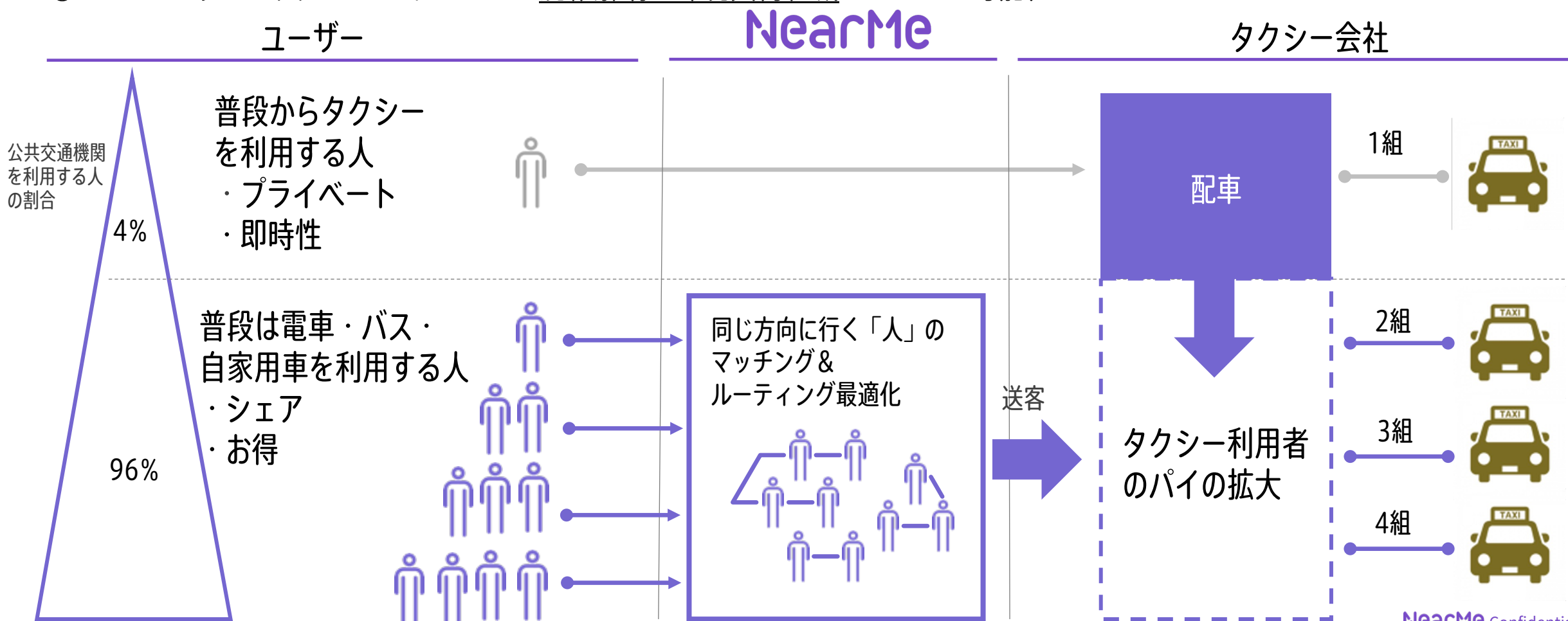
売上の**50%**と言われている。





# 「シェア乗り」によるタクシー業界にとっての5つの機会

- ①. 自家用車や電車・バスを利用する人からの新規顧客創造
- ②. タクシー車両が不足している時間帯などへの対応
- ③. 1乗車あたりの乗車距離アップで生産性向上の可能性
- ④. 災害や人身事故など有事の代替手段になる可能性
- ⑤. なるべく多くの人とシェアすることで混雑解消や環境負荷軽減につながる可能性



# 2021年11月の「相乗り解禁」により、本格的に展開できる環境が整った

## 2021年11月相乗り解禁

### 相乗りタクシー、11月から解禁 運賃安く、後部座席2人まで

2021/10/29(金) 18:51 配信 45

タクシー相乗りのイメージ

国土交通省は29日、他人同士が同乗するタクシー相乗りを11月1日から全国で解禁すると発表。配車アプリを通じ、同じ方向に行く人を調整。運賃は乗車距離で案分するため、単独で乗るより割安。業者側の準備が整い次第、実際に利用できるようになる。コロナ対策で当面、3人掛けの後部座席は2人までとするなどの対応を求める。

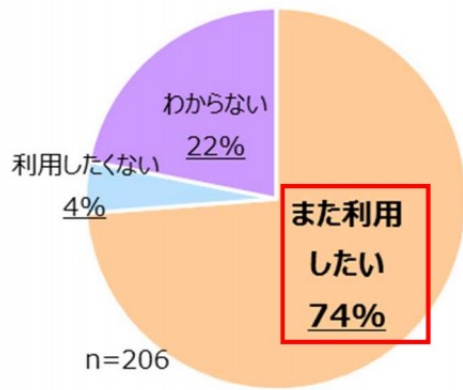
乗客の利便性や事業者の生産性を向上させる規制緩和の一環で、29日付で関連通達を公布。運転手不足が深刻化している地方もあり、住民の足を安定的に確保する狙いもある。アプリを使わず、運転手がタクシー乗り場で客を募って相乗りさせることはできない。

Source: <https://news.yahoo.co.jp/articles/d772055d6f6143dc0a2ceabddf48334c9a9d8880>

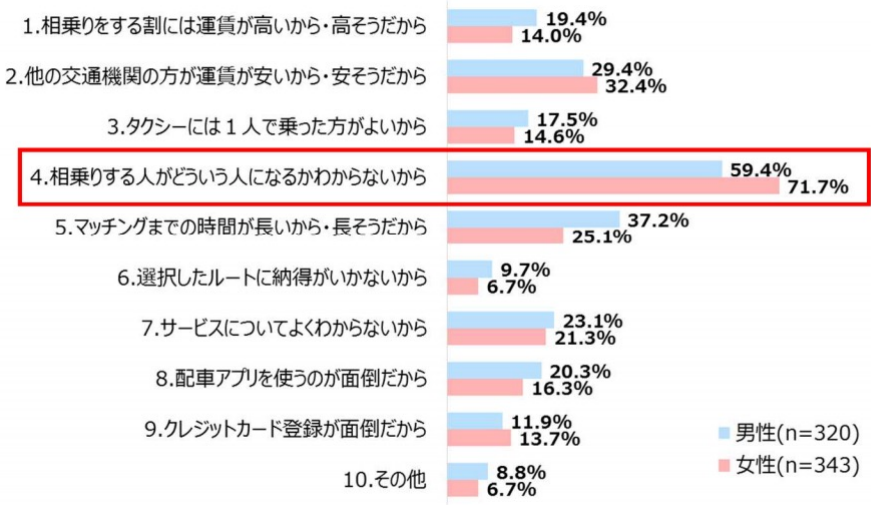
## 2018年の国交省による実証実験の結果

マッチ率や乗車者への不安はあるものの、利用意向は高い

「相乗りタクシー」が本格的に導入された場合、また利用したいと思いますか



「相乗りタクシー」を「利用したくない」理由は何ですか。【複数回答可】



Source: 国土交通省, 相乗りタクシー実証実験の結果

ニアミーは、相乗り通達に沿った日本初の「シェア乗り」サービスで先行

## 本日のアジェンダ

自己紹介 | なぜスタートアップをはじめたのか

モビリティ業界（ドアツードアの移動）を取り巻く環境

ニアミーが取り組んでいること

質疑応答 (QA)

# Business Model 需要と供給の両サイドのマッチングプラットフォーム



## 需要創出

新規乗車数の  
増加↑

## 配車効率

往復・帯による  
運行

## 価格

シェアだから  
おトクに乗れる

## 利便性

乗り継ぎや荷物の  
負担なし

# エアポートシャトル

## バスとタクシーの“いいとこ取り”の新たな移動サービス

---



シェアでおトクに！

自宅・ホテルと空港をドアツードア

羽田空港便：定額1,980円/人～



1人でタクシー利用するより半額以下



定時・定路線のバスより柔軟

# 5つの利用ステップ



NearMe | ニアミー



エアポートシャトル

シェア乗りでおトク  
空港⇄自宅/ホテルを送迎

羽田空港 ¥1,980 ~ \*

\*1人での予約、シェア割適用

ニアミーならもっとおトクに (詳細は [こちら](#))

シェア割  
最大 2,500円 OFF

早割  
予約は7日前まで

グループ  
大人数ほどおトク

👉 まずは入力して料金を確認してみよう

空港へ

空港から

🛩 羽田空港

ターミナルを入力

📍 乗車地

📅 空港到着日 (JST)

📧 未設定

🕒 到着時刻

👤 1

🛒 1

01

フライトにあわせて予約  
(多言語対応)

02

申し込み内容の確認

03

メールで注文の確定

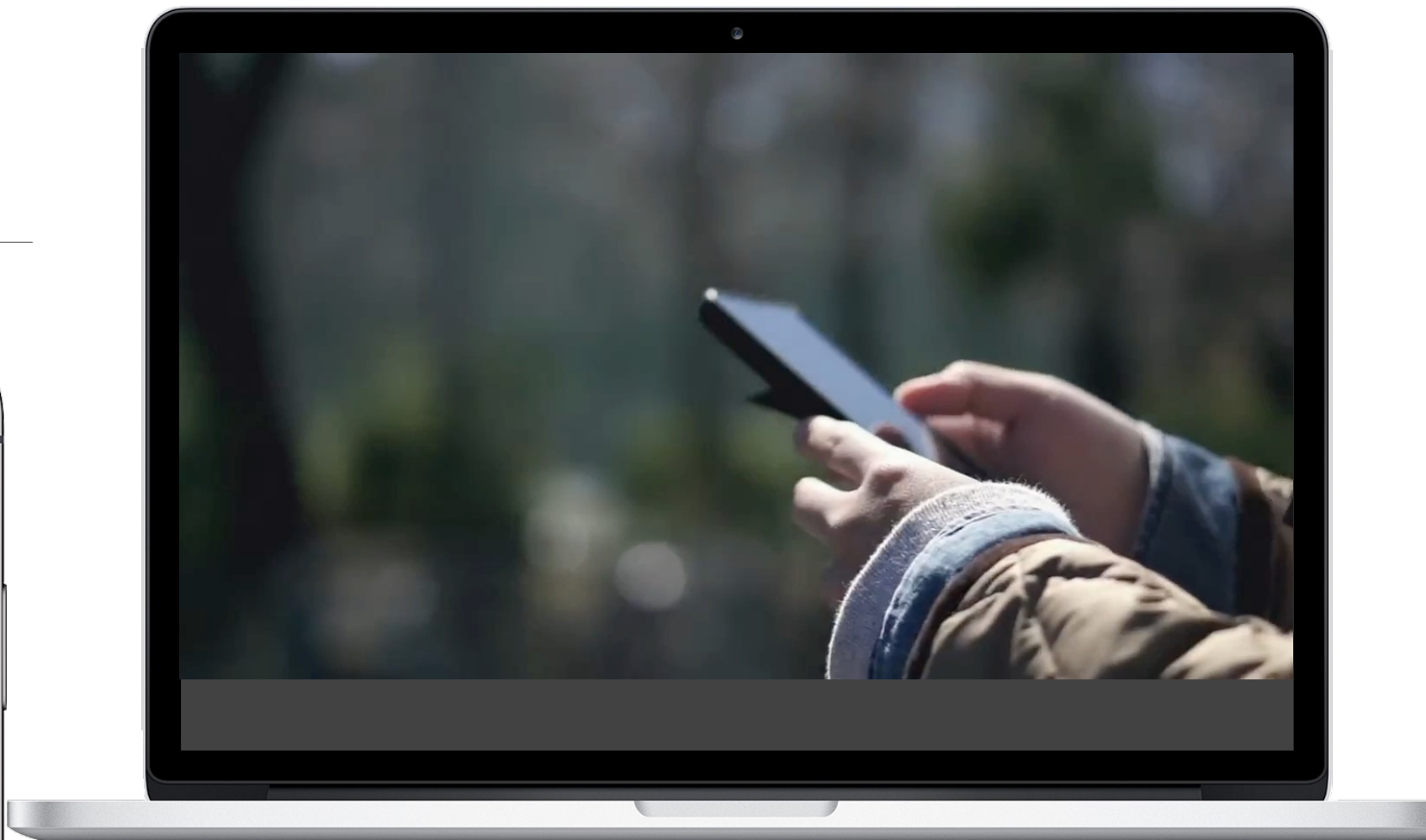




# 5つの利用ステップ

04

集合時間・場所の確認



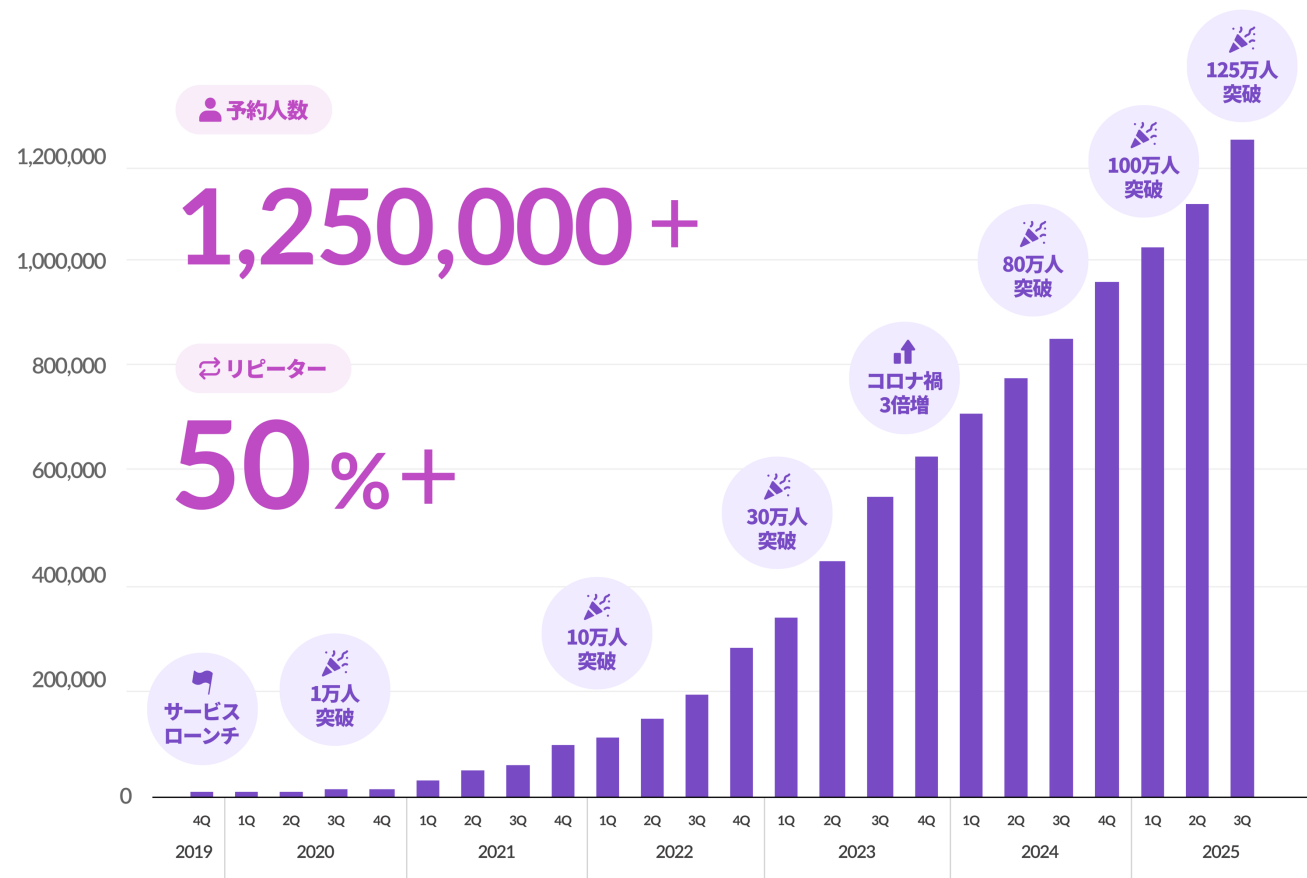
05

当日、時間になったら乗車&目的地へ

# Product & Traction 空港の実績をもとに様々なユースケースに対応

エアポートシャトルは累積100万人を突破（80%の旅行者カバレッジと多言語対応）  
さらに、空港で構築した特許取得済みの仕組みを「地域の足」「観光の足」へ横展開

## ▶ 実証から日本全国へ社会実装



エアポートシャトルのサービス成長

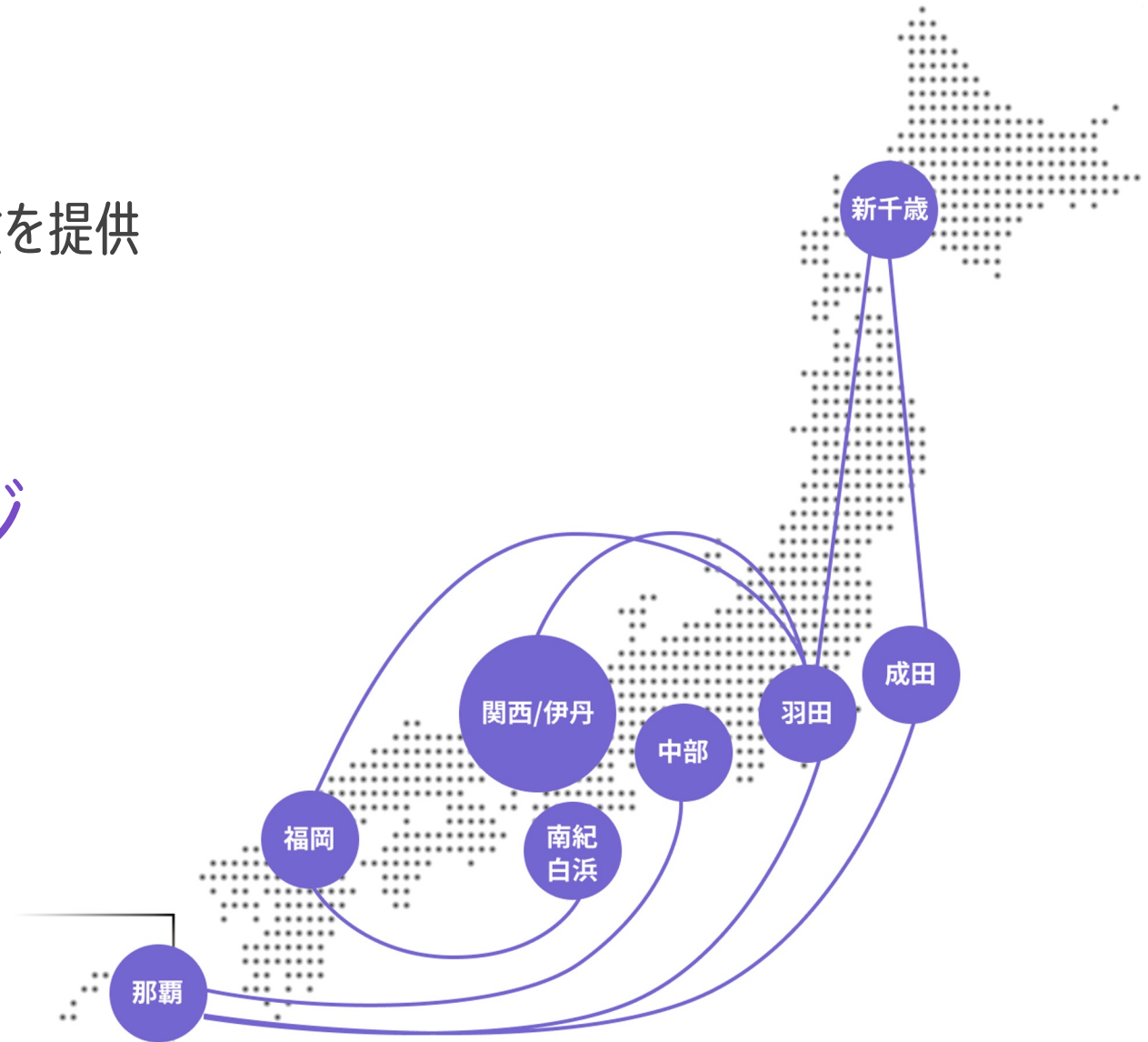
シェア乗りにより  
通常のタクシーと比べて既に  
2~3倍の輸送力  
を実現



## エアポートシャトルの展開

各エリアの地元のタクシー会社と提携し、  
自宅から最終目的地まで一気通貫の移動体験を提供

全国16空港で多言語展開  
旅行者の80%以上のカバレッジ  
インバウンド利用も増加中



# テクノロジーで、運行会社の成長を支える業務DXを推進

特許取得済

## 1. 組み合わせ最適化



- ✓ 事前予約でユーザーをバンドル
- ✓ ダイナミックルーティング (AI) により複数の注文から1つのトリップを自動で作成し、組み合わせを最適化

## 2. 「1-Click相乗り配車」



- ✓ 複数の交通事業者が参加可能
- ✓ 運行管理者は受け入れ可能かすぐに判断でき、承認するとユーザーへ自動通知

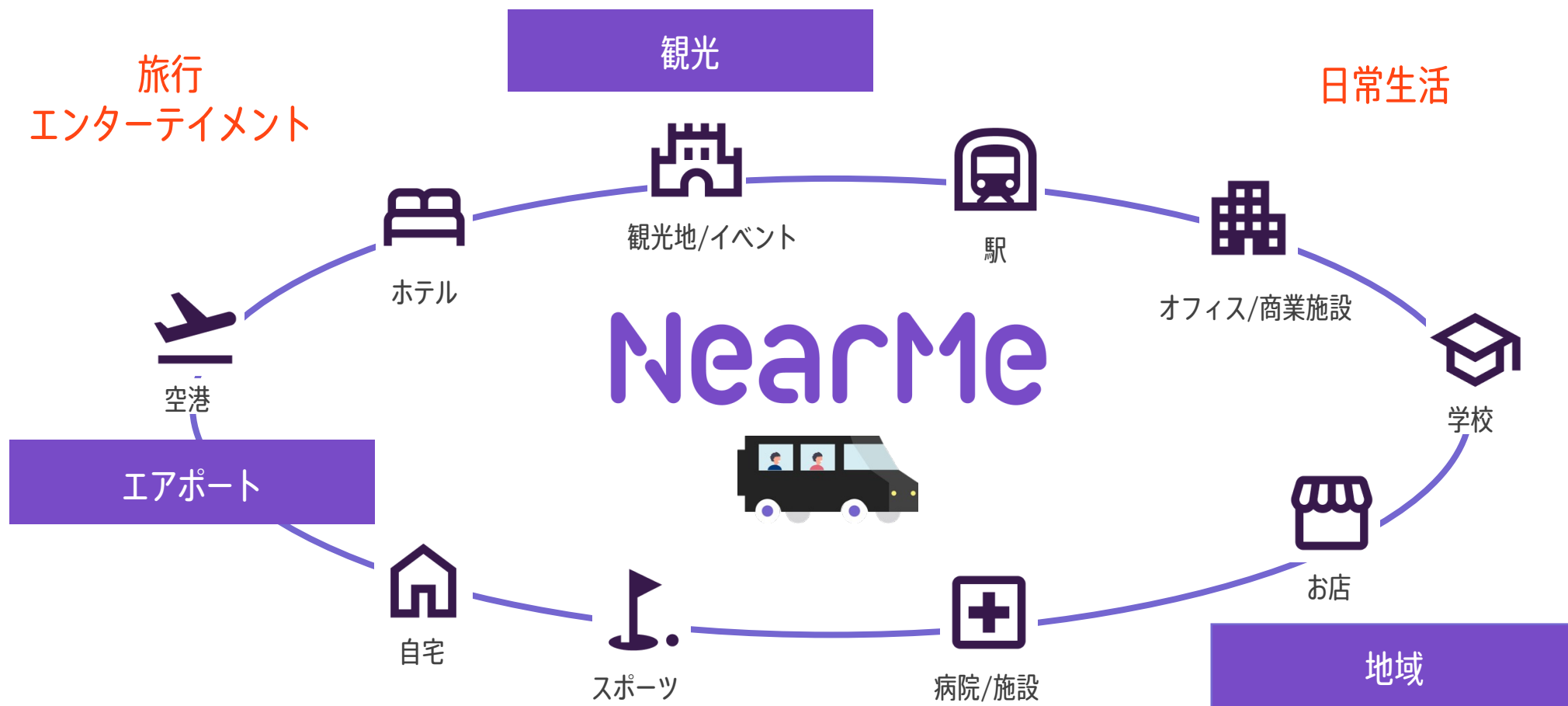
## 3. 事前予約で配車効率↑

2023/08/10(木)																							
08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	00							
下落合 羽田空港 2名/2荷			中央3 羽田空港 3名/3			瀬田 羽田空港 6名/6			羽田 若林 3名/	駒 羽田 7名			羽田 宮前 2名/2				弦巻1丁 羽田空港 6席(7名)/	船橋2 羽田空港 4名/4荷	羽田 瑞 3名	ローズハ 羽田空港 4席(5名)	羽田空港 市谷砂 3名/3荷	品 羽田 5名	羽田空 世田谷 4名/3
																	竹内 羽田 2名/	羽田 東 4席	平河 羽田 3名/	羽田空港 国立成育 8席(11名)	世田谷 羽田空 5名/3	成城9 羽田空 5名/5	羽田空 野方3丁 6名/4荷物
																		井田 羽田 2席/	Nozaki3-4 羽田空港 3名/3荷物	羽田空港 西荻南2 7名/4荷	吉祥寺本 羽田空港 4名/4荷物	富 羽田 1名	羽田 ホ 2名
																			加賀2丁 羽田空港 2名/2荷	東 羽田 1名	田 羽田 4名	羽田空 松ノ木 3名/4	羽田空 プリリ 5名/1

- ✓ 事前予約の計画配車により、往復運行や帯で連続した運行が作成でき、配車効率アップ

# 空港送迎で構築した仕組みの 展開サービス事例

# 空港で構築したプラットフォームを様々な利用シーンに展開



Product & Traction 各エリアの課題やニーズに合わせたサービスを全国へ展開

ニアミーは様々な移動課題に向き合い各地域で展開

▶ 実証から日本全国へ社会実装

京都府 京都市

heartme

「シェアリング・モビリティ」  
京都観光シャトル

東京都 渋谷区

heartme

渋谷駅周辺地域に於ける「ライドシェア」の実証実験

岡山県 真庭市

heartme

真庭市観光シャトル

東京都 大田区

heartme

大田区観光シャトル

熊本県 阿蘇エリア

heartme

阿蘇観光シャトル

愛知県 西尾市

heartme

西尾市観光シャトル

鹿児島県 鹿児島市

heartme

鹿児島観光シャトル

滋賀県 栗東市

heartme

栗東市観光シャトル

新潟県 佐渡市

heartme

佐渡観光シャトル

北海道 帯広市

heartme

帯広観光シャトル

新潟県 新潟市

heartme

新潟観光シャトル

秋田県 北秋田市

heartme

北秋田観光シャトル

長野県 野沢温泉村

heartme

野沢温泉観光シャトル

秋田県 美郷町

heartme

美郷町観光シャトル

神奈川県 横浜市

heartme

横浜観光シャトル

山形県 山形市

heartme

山形観光シャトル


● ● ● 観光シャトル

● ● ● 地域シャトル

培ってきた実績を全国の様々な移動課題に

全国25都道府県に展開

国プロジェクトにも採択

 国土交通省  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

# 観光向けサービスの事例 | インバウンド含む各エリアの課題やニーズに応える

NearMe | ニアミー



予約 & シェア乗りで混雑回避！  
**京都観光シャトル**  
Kyoto Trip Shuttle, Enjoy your trip by shared shuttle

対象エリア：京都駅 北側  
North side of Kyoto Station



- ・シェアでおトクに！ Save money by sharing
- ・運行時間：9時～18時まで Operation: 9:00 to 18:00
- ・予約でスムーズに移動（160分前まで受付） Reserve up to 60 minutes in advance

ご利用はこちらから  
Here to use

※乗客定員は5名です。  
※予約は事前に行ってください。

交通規制により利用できないエリアがあります。あらかじめご了承ください。  
"Some areas may be excluded due to traffic regulations. Please check in advance."  
"Reservations must be made in advance."



京都市

## 京都市

オーバーツーリズムの解消に向けて、相乗りで交通量を減らし、輸送量を高める目的で実施



新潟市  
Niigata City

## 新潟市

観光価値向上と地域活性化を目的に、事前予約による利便性の向上と相乗りにより一人あたりの負担を下げることで、お得で快適な観光地周遊を実現



美郷町

## 美郷市

新幹線駅からの二次アクセスに課題が存在し、各スポットを設置し、区間で1人あたり料金（乗合運賃）を設定し、観光施設へのアクセスを改善



北秋田市

## 北秋田市

9割が台湾のためインバウンド対応（中国語/繁体字）  
最寄り駅からスキー場までを輸送



岡山県

## 岡山県

メインをノーマイカーの国内旅行客の1~2人旅を対象。最寄り駅から車で30分かかる観光スポットに輸送。インバウンド対応（英語・中国語/繁体字）



# 観光/地域向けサービスの事例 | オンデマンド交通、日本版・公共ライドシェア

交通空白地帯の解消や運行経費の財政負担の軽減、地域の回遊性向上を目的に、  
様々なユースケースに応えるサービスを提供開始

## 熊本県阿蘇市

東京都大田区にて  
オンデマンド型交通の実証運行



## 山形市

山形県山形市にて  
65歳以上の方を対象とした  
相乗りタクシー



## 佐渡市

新潟県佐渡市にて  
ライドシェア開始



## 野沢温泉村

長野県野沢温泉村にて  
ライドシェアの実証実験参画



## 飯山市

長野県飯山市にて  
市民と観光客まで、相乗りを



## 西尾市

相乗り旅客運送にて  
AIデマンドシステム導入



# 地域向けサービスの事例 | かなみちゃん相乗りタクシー（山形市公共交通課）

相乗りタクシーとして、利用数に応じて利用者負担の差額運賃を行政が補填するモデル



実施期間

2024年3月～

実施背景

## 相乗りの促進と効率的な配車の実現

事業の利用拡大や他地区への展開を見据え、相乗りマッチングを実現するために、「事前予約システムによる相乗りマッチング業務契約」としてAIマッチングシステムを導入  
スマートフォンアプリ等による利用者の予約の利便性向上やタクシー事業者が行う配車業務の迅速化と効率化にも努め、持続可能なサービス提供を目指す

結果

運行車両を借上ではなく都度配車モデルを採用。

本仕組みを採用することで**収支率35%以上達成**

YAMAGATA CITY 山形市 × NearMe

電車・バスの公共交通の不便地域における高齢者の移動支援

山形市、NearMeの  
LINE予約システムを導入



山形県内  
初

一般乗用旅客自動車運送事業における  
相乗り旅客運送にて  
AIデマンドシステム導入



# 地域向けサービスの事例 | 佐渡版ライドシェア（佐渡市交通政策課）



タクシー優先配車機能（タクシー→ライドシェアの順に配車依頼）を初実装（2024年7月時点）

タクシーだけでは賄いきれなかった移動需要に対応でき、**地域交通とのシームレスな共存・補完関係も実現**



**優先配車（タクシー→一般ドライバー＝ライドシェアの順）の設定により適切な共存関係を**

# 観光向けサービスの事例 | 清水港（ライドシェア×シェア乗り）

日本版ライドシェア（ライドヘイリング）の「量」の取り組みと、ニアミーが従来から取り組んできた複数組で一台の車両を利用する“シェア乗り”（ライドプーリング）の「質」の取り組みを連携させた日本初の仕組み



清水港からの移動をおトクに

「シェア乗りタクシー静岡」  
観光地の移動課題に対応

日本初

ライドシェア(量) × シェア乗り(質)



実施期間

2025年9月～



静岡市

実施背景

## ライドシェアとの共存（供給量の効率向上）

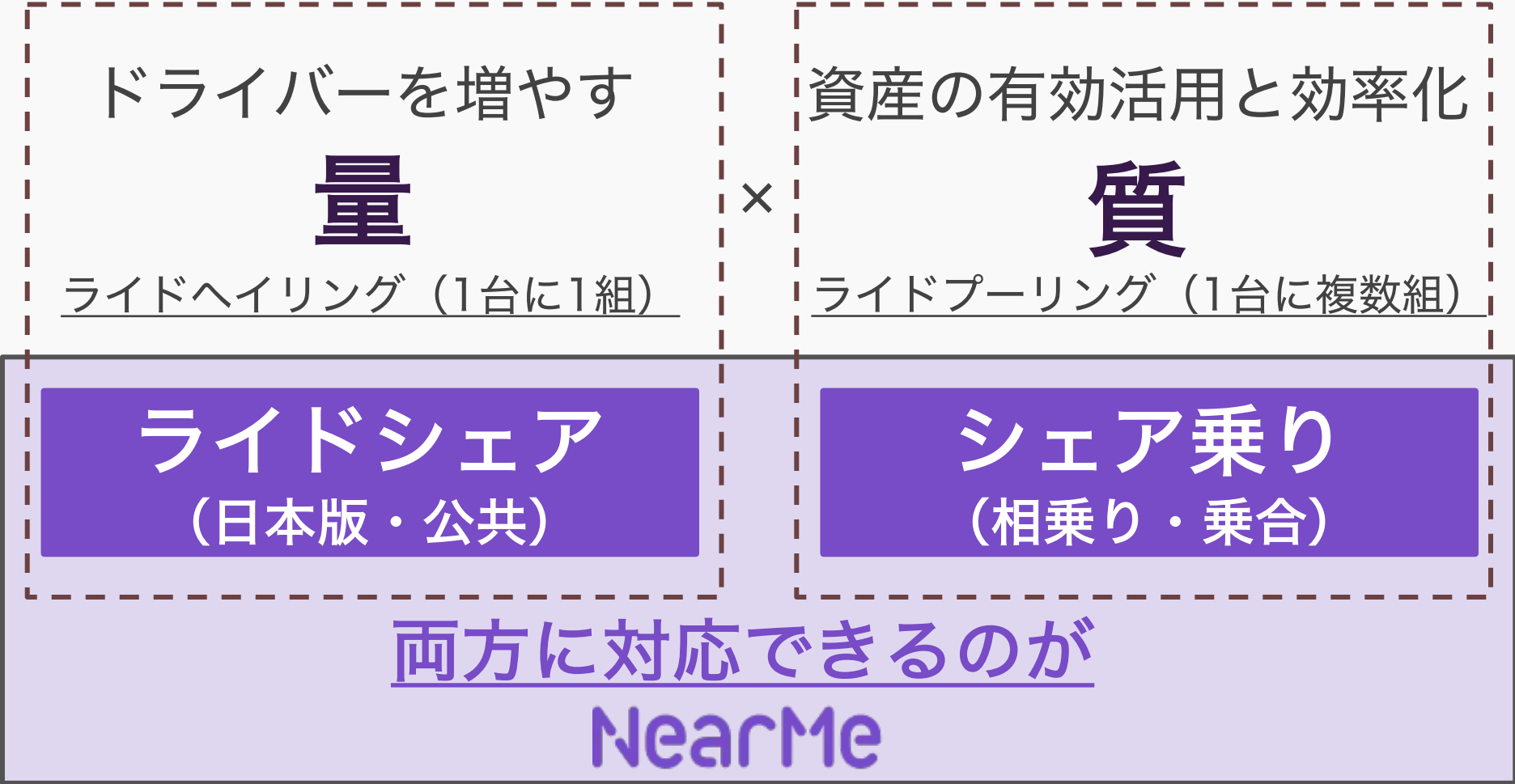
清水港は国際クルーズ船の寄港地として観光において重要な役割を担っているが、フェリー到着時には利用者が集中し、地域の二次交通は慢性的に不足しており、観光客と地域住民の双方にとって移動の選択肢が限られるという課題がある

静鉄タクシー株式会社が清水港で導入する、自家用車を活用した日本版ライドシェア（ライドヘイリング）と、ニアミーが従来から取り組んできた複数組で一台の車両を利用する“シェア乗り”（ライドプーリング）のAI配車システムを連携させた日本初の仕組み

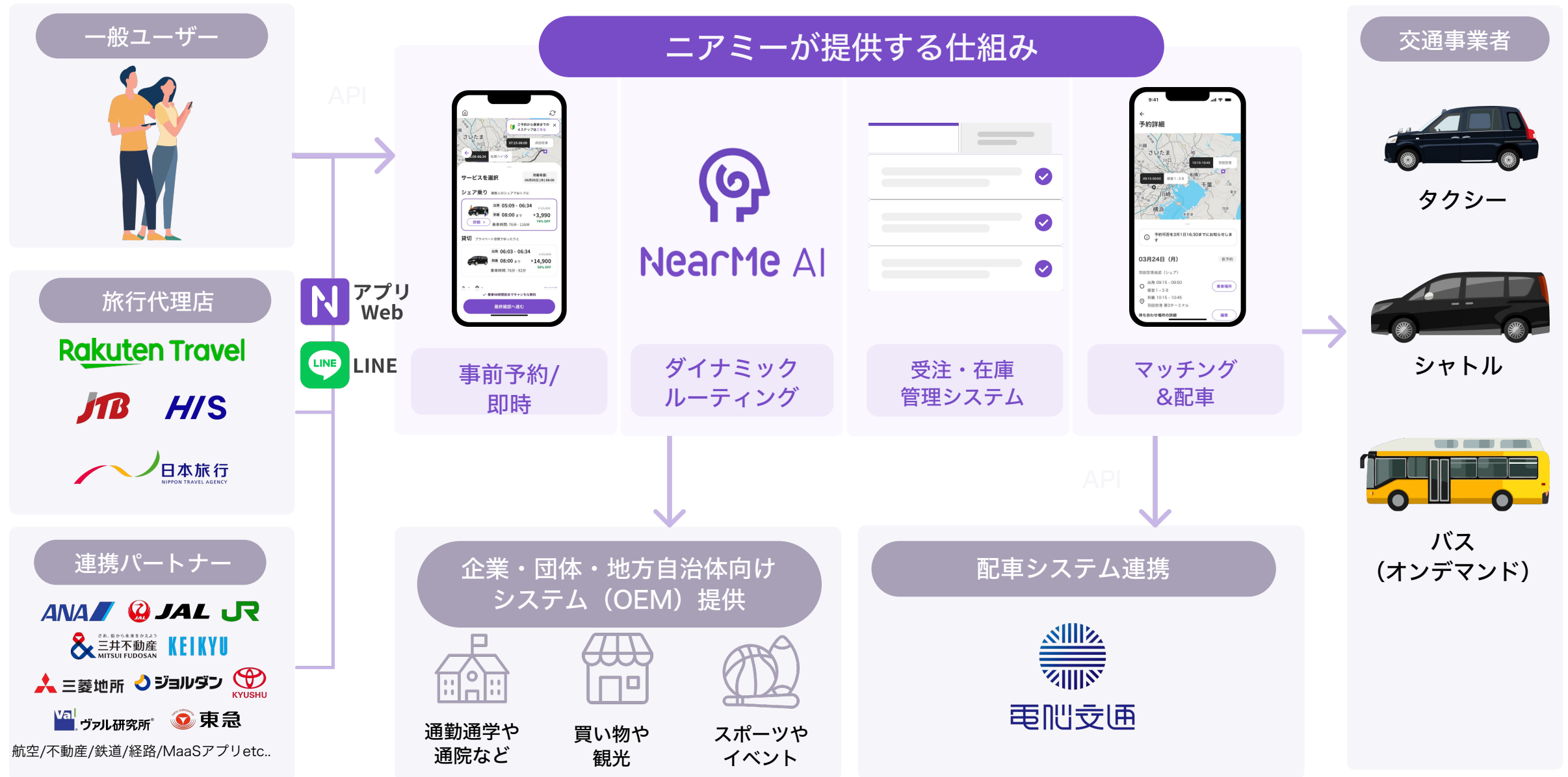
これにより、需給のずれで港周辺で不足していた移動の選択肢を広げ、利便性を大きく向上させる

ニアミーは、ライドシェア×シェア乗りの両方に対応可能できる唯一無二の存在

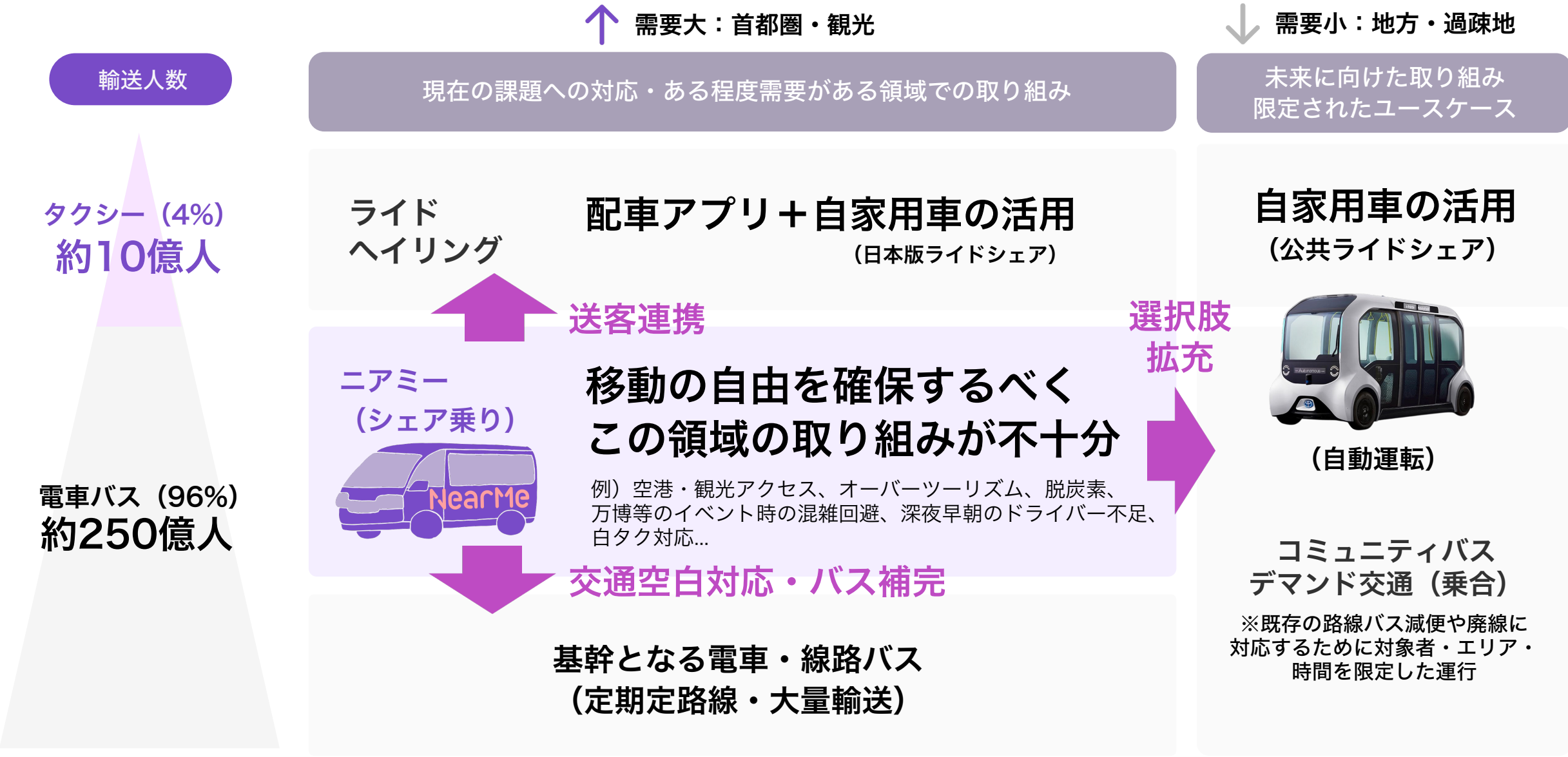
1つの配車アプリで、ライドシェアとシェア乗りの両方に対応し、特に難易度のシェア乗りについては、これまで全国でオペレーションを構築し展開してきた実績を有する



# 成長を支える業務DX：パートナーやシステム連携でさらなるスケールを実現



# 日本の移動課題の解決に向けて、重要になるニアミーの今後の展望



Source: TAXI Today in Japan, Taxi of Tokyo



# 自動運転の世界に向けても

“シェア乗り“を今からあたり前にすることで、地域交通と観光交通の境界を越えて移動の需給ミスマッチによる社会課題を解決し、未来の移動につなげていく



## ライドヘイリング

1台に1組

交通量増加

一般車両（小型車）の  
EVへのスイッチ

シェア型への転換GAP



## ライドプーリング

1台を複数人でシェア

既存台数から輸送量を6倍創出

渋滞や環境負担を軽減

シェア車両のデザイン  
とEVへのスイッチ

来たるべく  
自動運転へのパス

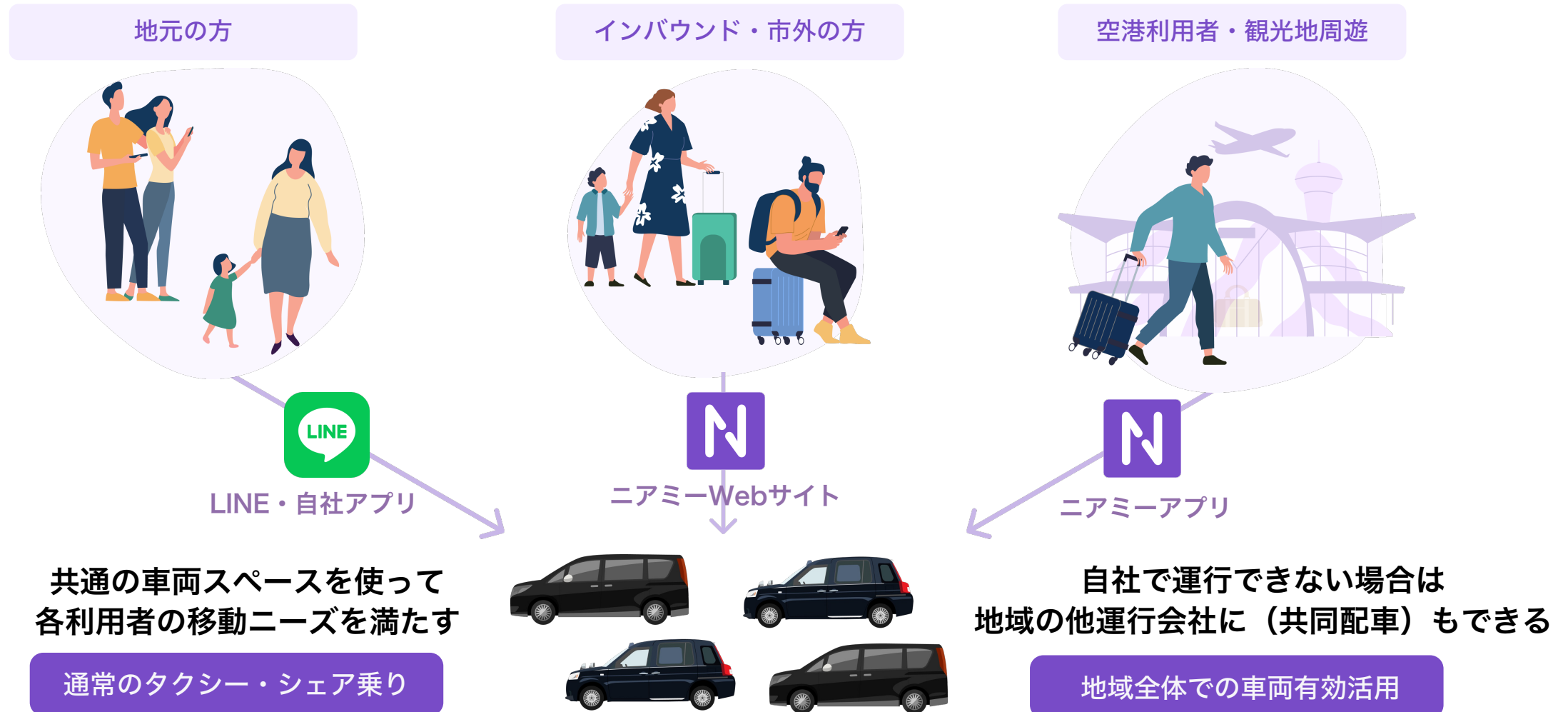
## 自動運転の世界



ドアツードア移動も  
シェアが次の  
あたり前になる

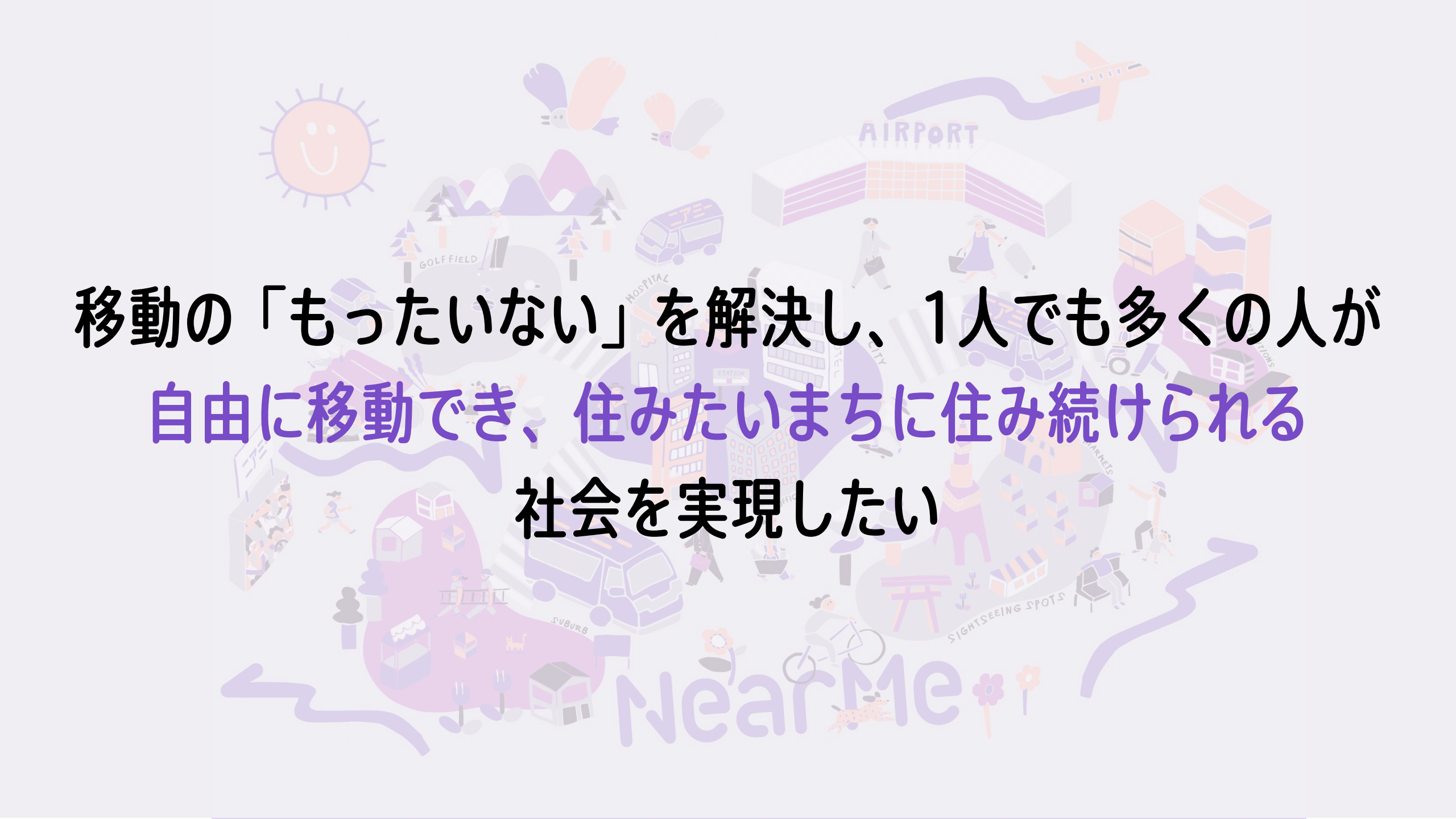
# ニーズに合わせた様々なチャネルの依頼を1つに集約していく可能性

多様な価値観に合わせた経路を用意しドライバーの収益向上、ドライバー不足解消への一助を目指す  
「観光の足」×「地域の足」を織り交ぜ各エリアにおけ「集約と協業」を実現する存在に



# 「予約でおトク、ラクちん。」のニアミーが三方良しを実現する





移動の「もったいない」を解決し、1人でも多くの人が  
自由に移動でき、住みたいまちに住み続けられる  
社会を実現したい

NearMe